

学校教育目標「認めあい 支えあい 高め合う」

令和6年4月号
令和6年4月8日発行



あゆみ

八潮市立八潮中学校
八潮市中央1-1-2
Tel:048-996-4219
生徒数 577人

令和6年度 入学式・始業式 式辞

校長 土谷 昌秋

一年かけて咲き誇る力を蓄え、立派に咲き、見事に舞っていく桜吹雪の中、八潮市教育委員会…をはじめ、ご来賓の皆様、多くの保護者の皆様のご臨席を賜り、令和六年度入学式・始業式を挙行できますことに心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

希望を胸に、八潮市立八潮中学校の仲間となる新入生のみなさん、入学おめでとうございます。

最初に、少しの時間、目を閉じてください。まぶたの奥で想像してみてください。みなさんが生まれた日のことを。生まれた日のことですから、記憶はありませんね。でも、記憶がなくても、その日を想像することはできるはずですよ。自分の生まれた時の写真がありますね。その時の顔を思い出してください。白い産着を着たみなさんの瞳は今と同じようにまぶたを閉じているでしょう。そこには輝ける命の誕生がありました。ご家族の祝福がありました。このことはここにいる全ての人に共通していることです。

目を開けてください。

私はまず、みなさんがこの世に生を受け、今ここに元気であることに謙虚におめでとうと言いたと思います。お互いがお互いの命の尊さを心に刻むことが入学式という始まりにまず目をむけることです。入学式というのは始まりの時です。原点に立ち戻るのです。この世に生を受けたみなさんは、そのまぶたを大きく見開き、この十二、十三年間、いろいろなものを見てきました。悲しいこと、つらいこと、うれしいこと、感動したこと、様々なことがあったでしょう。友達と楽しく過ごしたこともあれば、泣きながら学校から帰ったこともあったでしょう。今までの思い出を大切にすることも大事ですが、この入学を機に新たな気持ちでスタートすることも大切です。

これから始まる中学校での生活は大人になる準備をするところです。ご家族の保護から少しずつ離れ、自立するところです。自分の行動や言葉に責任をもつのです。それは、新たな自分を作り上げることでもあります。そのための第一歩は、ひとりひとりが命の大切さを深く、重く、受け止めることなのです。

しかし、そのことを、ふみにじってしまうのが、いじめというくだらない行為なのです。だから、いじめは絶対に許されません。わかりますね。ここにいるすべての人は、今、この時、命の大切さを改めて強く感じなくてはならないのです。

保護者のみなさま、お子様のご入学、誠におめでとうございます。我が子の制服姿はいかがですか。生まれてくるのがわかり、どんな名前にしようかと想いを巡らした日から十二年十三年が経ちました。一番思い出される風景はどんな風景ですか。今日より、学校と保護者の皆様がバディ、パートナーとなり、一人ひとりを大切に、寄り添い、育てていきたいと思えます。

二、三年生のみなさん、進級おめでとうございます。気持ちを新たにそこに座っている人も多いと思います。その気持ち、決心を大事にしてください。三年生はいよいよ義務教育の出口が待っています。二年生はいよいよ最上級生への登山の山頂が見えてきます。

結びに、ここにいらっしゃるすべての皆様に感謝申し上げ、式辞といたします。



出会いを大切に